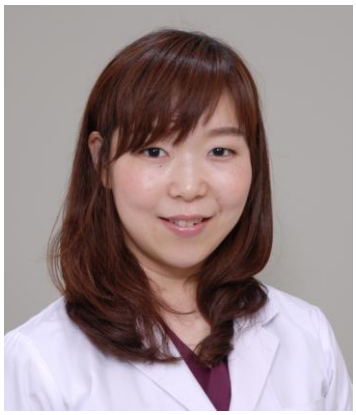
がん患者さんのQOL改善につながる オンラインメイクアドバイスの開発



氏名　北野　敦子

所属　聖路加国際病院　腫瘍内科

役職　副医長

URL

https://hospital.luke.ac.jp/guide/43_medical_oncology/index.html

研究分野　臨床腫瘍学、がんｻﾊﾞｲﾊﾞｰｼｯﾌﾟｹｱ

・がん患者のサバイバーシップに関する研究

・思春期・若年成人期のがん関する研究

◆研究シーズの概要◆

抗がん剤治療による外見変化はがん患者さんに対し心理社会的影響を与えることが分かっていますが、多忙な医療機関で十分な外見ケアを実施することは難しい現状があります。また新型コロナウィルス感染拡大に伴い、対面式の外見ケアの実施はさらに困難になりました。そこで株式会社資生堂と協働し、オンライン会議システムを用いた外見ケアプログラムを開発しました。このプログラムでは、事前に医療者から癌に関する教育を受けた資生堂の美容技術者が、オンラインで抗がん剤治療中の患者さんに対しメイク指導を行いました。私たちの研究では、このプログラムを受けることで患者さんのＱＯＬの感情スコア、抑うつ、化粧満足度が改善することが分かりました。これらの効果は再発乳癌患者患者さんや、もともと「外見変化が気になる」と感じられていた方においてより有効であることがわかりました。

◆共同研究・受託研究のご提案◆

- ■ がん患者さんの外見ケアに関する研究
- ■ がん患者さんの生活の質（QOL）に関する研究
- ■ がん患者さんのサバイバーシップケアに関する研究

◆アピールポイント◆

- ■ 当院は日本で2番目に多く乳癌の手術を行っている施設です。ハイボリューム施設の特徴を生かした乳癌患者のQOL研究、サバイバーシップ研究を行うことが可能です。
- ■ 院内に設置されているAYAサバイバーシップセンターと協力しながら、思春期・若年成人期のがんに関する研究も可能です。